

み ほ

NO. 99



議会だより

発行／美浦村議会
編集／議会広報公聴委員会
発行責任者／議会議長
茨城県稲敷郡美浦村受領1515
電話／029-885-0340
平成24年11月1日



平成23年度7会計を審査（決算審査特別委員会）

目次

| | |
|-------------------|-----|
| 平成24年第3回定例会 | P2 |
| 一般質問 | P6 |
| 視察報告 | P12 |
| 議員活動 | P16 |

平成24年第3回定例会

平成24年第3回定例会は、9月11日から21日までの11日間の会期で行われました。今定例会では、村長から人事案件、工事請負契約・変更契約、条例改正、平成24年度補正予算、平成23年度決算認定など25議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり適任・同意・可決・認定されました。

また、議員からは意見書1件が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問は、13日に行われ、6人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

平成23年度美浦村決算議会が 7会計をチェックし認定

平成23年度各会計の決算認定については、「決算審査特別委員会」を設置し、慎重な審査を行い、7会計すべてが認定すべきとの結論にいたりました。

| 会計名 | 歳入累計 | | 歳出累計 | | 歳入歳出差額 | |
|------|---------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-----------|
| | | 前年比 | | 前年比 | | |
| 一般会計 | 61億4,075万9千円 | 0.6% | 58億9,323万8千円 | 0.3% | 2億4,752万1千円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 20億3,280万円 | 5.5% | 19億3,301万9千円 | 3.2% | 9,978万1千円 |
| | 農業集落排水事業 | 2億4,154万9千円 | 7.3% | 2億3,020万1千円 | 16.5% | 1,134万8千円 |
| | 公共下水道事業 | 10億203万5千円 | 77.6% | 9億9,724万9千円 | 79.8% | 478万6千円 |
| | 介護保険 | 8億3,178万8千円 | 13.4% | 8億4万9千円 | 11.3% | 3,173万9千円 |
| | 後期高齢者医療 | 9,777万3千円 | 7.1% | 9,588万円 | 6.1% | 189万3千円 |
| 総計 | 103億4,670万4千円 | 7.2% | 99億4,963万6千円 | 6.9% | 3億9,706万8千円 | |

| | | | | | |
|------|-----|----|-------------|-----|-----------|
| 水道事業 | 収益的 | 収入 | 6億497万1千円 | 差引額 | 5,886万8千円 |
| | | 支出 | 5億4,610万3千円 | | |
| | 資本的 | 収入 | 5億327万1千円 | | ▲7,639万円 |
| | | 支出 | 5億7,966万1千円 | | |

(詳細は広報みほ11月号をご覧ください)

監査委員の決算審査意見

監査委員 荒木昭雄
監査委員 下村 宏

平成23年度は、3月11日の東日本大震災や原発事故による被害に対応し、災害復旧や防災関連工事、避難者の受入れ、放射線量の測定、除染工事などに追われた1年であった。

こうした環境の下で、美浦村の財政状況も更に厳しさを増しており、毎年減少を続ける村税収入は、前年度に比べ1.1%減少し、国庫支出金も34.1%減少しました。東日本大震災による災害復旧費、災害救助費、防災・減災関連事業の歳出増加に伴う特別交付税や県支出金の増加等により、歳入全体としては、前年度に比べ3.4%の増となりました。

しかしながら、災害関連収入を除けば、前年度と同

様に、減収による財源不足分を地方交付税と臨時財政対策債で補うという状況は続いており、今後ともこの傾向は続いていくことになると考えられます。

《財政基盤の確立》

財政基盤は全体的には悪化の傾向にあります。

村の基幹的財源である村税など自主財源の減少も要因の1つでありますので、極力、財政の硬直化を招かないよう、企業誘致等による中長期的な地域経済活性化対策も図りながら、雇用と安定的財源の確保を図り、財政の健全化に努めていただきたい。

《不納欠損》

厳しい財政運営の中で大きな歳入減であるばかりでなく、納税の公平性という観点からも問題があります。

村税、国民健康保険税、介護保険料等が納期限までに納められず滞納されるこ

とは、事業推進や行政運営に大きな支障を来すことになり、滞納者の実態の把握に努め、関係課との連携を密にし、早め早めの適正な対応等による納税対策の更なる強化を図っていただきたい。

《予算の執行》

一般会計の農林水産業費と土木費の予算執行率が、大変低くなっている。

所管する特別会計への繰出しは、事業運営に呼応した適正な執行をしていただきたい。

《国民健康保険特別会計》

医療費抑制のために、健康診断や各種検診の積極的な利用を呼びかけ、医療費を抑制するよう努めていただきたい。

《農業集落排水事業特別会計》
・《公共下水道事業特別会計》

今年度は不用額の大部分が予測の難しい施設管理費

であったにもかかわらず、不用額が大きく減少したことは、精度の向上に努力した結果であると評価します。

《水道事業会計》

村内人口の減少に伴い、給水人口や給水収益が減少しつつある。

今後とも加入促進を図るとともに、増加しつつある滞納金の徴収と併せて経費削減に努めていただきたい。



決算審査特別委員会

人権擁護委員候補者を推薦

本年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員候補者に、引き続き下記の方を推薦しました。

石橋威雄氏 (大山)

教育委員会委員2名を任命

本年11月1日をもって任期満了となる教育委員会委員2名に、下記の方を任命しました。

栗山秀樹氏 (布佐)
浅野千晶氏 (土浦)

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、平成24年度当初予算編成段階で不確定のため計上を見送っていたもの及び緊急性を要する事業に係る補正が主となっています。

| 会計名 | | 補正額 | | 予算総額 |
|------|---------------|-----------|--------|--------------|
| 一般会計 | | 4,643万1千円 | | 58億3,405万7千円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 2,733万4千円 | | 20億5,833万4千円 |
| | 農業集落排水事業 | 45万6千円 | | 2億2,955万6千円 |
| | 公共下水道事業 | 503万5千円 | | 11億3,993万5千円 |
| | 介護保険 | 779万6千円 | | 8億6,709万6千円 |
| 企業会計 | 水道事業 (収益的) | 収入 | 29万2千円 | 5億9,919万2千円 |
| | | 支出 | 45万2千円 | 5億9,935万2千円 |

補正の主な内容

《一般会計》

道路新設改修事業費 1,490万3千円
 人事異動等に伴う職員給与関係経費 1,403万6千円
 地域支え合い体制づくり事業費 599万6千円
 道路橋梁災害復旧費 560万円

《国民健康保険特別会計》

償還金及び還付加算金 2,850万3千円
 人事異動に伴う職員給与関係経費 ▲281万円

《農業集落排水事業特別会計》

人事異動及び退職者給与関係経費 ▲1,132万6千円
 基金積立金 776万2千円

《公共下水道事業特別会計》

基金積立金 463万3千円

《介護保険特別会計》

人事異動等に伴う職員給与関係経費 529万6千円

《水道事業会計》

職員給与関係経費 45万2千円

その他の議案と審議内容

| 区分 | 議案 | 議案内容 |
|------|---|--|
| 条例改正 | 美浦村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 地域福祉計画策定委員会委員を追加 【委員長】 5,500円 【委員】 5,000円 |
| | 美浦村社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例 | 社会教育委員と公民館運営審議会委員との兼職を廃止し、定数15名以内を10名以内と改正 |
| | 美浦村中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例 | 公民館運営審議会委員の定数を、15名以内から10名以内と改正 |
| | 美浦村スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例 | スポーツ推進審議会委員と公民館運営審議会委員との兼職を廃止し、定数10名以内、任期を1年に改正 |
| | 美浦村立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 児童福祉法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの |
| その他 | 茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について | 住民基本台帳法の一部改正に伴い、規約を一部変更することについて、関係市町村と協議をするもの |
| | 工事請負契約の締結について | 【目的】 災害に強い情報連携システム構築業務に伴う無線インフラおよび無線IP電話機設置工事 【金額】 8,933万4,525円 【相手】 株式会社 富士通マーケティング 関越支社 【工期】 平成25年3月29日まで |
| | 財産の取得について | 【目的】 災害に強い情報連携システム構築業務に伴うソフトおよび機器購入 【金額】 5,079万75円 【相手】 株式会社 富士通マーケティング 関越支社 |
| | 工事請負変更契約の締結について | 【目的】 安中小学校耐震補強及び改修工事 【金額】 2,047万5千円増 【相手】 松浦・大昭特定建設工事共同企業体 【工期】 平成25年3月15日まで |

請 願

| 件名 | 請願者 | 紹介議員 | 結果 | 意見書提出先 |
|------------------------------------|---------------|------|-----|--|
| 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書提出を求める請願 | 岡沢 清 | 岡沢 清 | 不採択 | |
| 教育予算の拡充を求める請願 | 高野富二男 外64名 | 山崎幸子 | 採 択 | 内閣総理大臣・内閣官房長官・文部科学大臣・財務大臣・総務大臣・内閣府特命担当大臣（地域主権推進） |

熱中症対策について

山崎 幸子 議員

質問 美浦村における、熱中症救急搬送の年齢構成についてと高齢者の熱中症対策の取り組み、そして村内小中学校・幼稚園・保育所の熱中症対策をお聞きます。

答弁（総務部長） 熱中症患者救急搬送状況は、平成22年は9名中60歳以上が6名、平成23年は11名中60歳以上が6名、高齢者の割合が全体的に高い状況でございます。



答弁（保健福祉部長） 熱中症予防対策として、村内の公民館・集落センター等において5日間、熱中症予防のお話等を実施しました。保育所においては、水分補

給・戸外での帽子着用等の対策をしております。



答弁（教育次長） 村内小中学校・幼稚園の熱中症対策として、戸外での帽子着用、栄養・睡眠を十分とるよう保護者へのお願い、教員の研修（予防・発症時対応等）を行っております。学校施設面につきましては、美浦幼稚園・美浦中学校・安中小学校では、既に空調冷房施設が整備されており、大谷小学校・木原小学校も平成25年9月には設備が完備する予定です。

質問 他の自治体においては、熱中症対策を広報手段での周知や、熱中症防止

グッズ配布等の取り組みをしています。本村はいかがでしょうか。

それと、児童生徒に関し、屋外や体育館での授業や部活の際、熱中症の危険性があります。そこで、ミストシャワーの設置についてですが、設備費用も1セット、2500円くらいと安価で、電気不要、水道料金のみ（1時間5〜6円くらい）で運転可能です。冷却効果は高く、低コストのミストシャワーの設置が有効と考えます。それと、運動会を現在9月に開催しておりますが、熱中症の観点からも、春に行なうというお考えはないでしょうか。



答弁（教育次長） ミストシャワーは非常に安価、維持経費もそれほどからないものですので、先進事例を検討し、必要であれば設置をしていきたいと思えます。

答弁（教育長） 春に運動会を行うというのは、ほかの行事との兼ね合いで、難しいというのが現時点での結論でございます。



質問 運動会は現在、春に行なっているところもあり、できないことはないと思いますので、熱中症の観点からも、前向きに考えてください。そして、ミストシャワーも早期の設置を実現していただきたいと思います。

答弁（村長） 熱中症対策に関しては、広報等で促していきたいと思えます。学校のミストシャワーの方は、余り環境を良くすることで体調の自己管理ができなくなるのが心配ですが、今後検証し、必要な時には整備をしていきたいと思えます。

大山地区スロープ 復旧工事について

飯田 洋司 議員

質問 大山スロープ修復工事が9月7日に完了しました。今後、当地域のレジャー、観光客が相当ふえると思います。交通、犯罪、環境、騒音、ごみ、トイレなど、大変な問題が今後出てくるのではないかと思われませんが、早急に、地元住民と解決策をとっていただきたい。

答弁（経済建設部長） 交通につきましては、県道大山江戸崎線には、速度制限、それから屈曲、それから自動車及び歩行者専用等の交通標識とあわせて農耕車優先の看板が数多く設置されており、安全運行に対する警鐘を促しています。環境、ごみ、トイレ等につきましては、河川事務所

側で取り組むべきものと考えております。しかし、トイレについては、決定には至っていませんが、設置する方向で検討をしていただいております。

今後、当然利用者増加が予定されますが、村がということではなく、地域の環境の維持のため、地域でできることは地域でという機運も醸成していくことが重



完成した大山スロープ

要との観点から、議員におかれましても、地域活動の中心的な存在として、管理方法等についてご尽力をいただきたいと思います。

安中地区太陽光発電の 環境について

質問 端山地区に計画されている太陽光発電は、1社分約3ヘクタールが完了し、11月に2社目の工事が始まると思います。またことし9月にパプリカ施設が起工となります。

これから、端山地区に、太陽光発電約9ヘクタール、パプリカ施設約5ヘクタールと、相当広いエリアで設備が稼働します。両施設とも、地権者と20年という長い契約を結んでおります。今後、長い契約の中で起こるであろう環境、防犯問題等を地元地区と協議する場を設けていただき、行政と地元住民がともに解決策を

講じられるようにしていただきたい。

答弁（総務部長） いずれの事業用地も、長期の賃貸借としており、賃貸借契約が終了した場合は、事業者が原状回復して返還するということになっています。賃貸借期間中に生じる諸問題につきましては、地権者の皆さんとともに協議の上、解決策を講じてまいりたいと考えております。そのためにも、仮称でございますが、地権者会等の設立について、地元の皆さんと、今後相談していききたいと考えています。



メガソーラー発電施設完成

通学路の安全対策について

山本 一恵 議員

質問 今、求められている対応は総合的通学路の安全対策です。本村においても、緊急合同総点検が実施されましたが、その総点検の結果と犯罪危険箇所対策の進捗状況、安全マップの作成、また学校支援地域本部の立ち上げの進捗状況について伺います。

答弁（教育次長） 通学路の合同点検については、8月に稲敷警察署、竜ヶ崎工事事務所、役場都市建設課、生活環境課、教育委員会、村内各小中学校の先生方とで行いました。各小中学校から抽出した危険箇所を点検し、関係機関と対応策を検討しました。早急に対応できるところは、既の実施している箇所もあります。

犯罪危険箇所の対策についても、関係機関や地権者等と調整して進めていきたいと思っております。通学路の安全マップについては、各小中学校で作成しております。見守り体制については、社会福祉協議会のボランティア団体再組織化と併せて、学校支援地域本部も早い時期に立ち上げていきたいと考えております。

答弁（教育長） 学校支援地域本部の組織づくりは教育の将来に重要な施策の一つと認識しております。これは安全、防災、授業、学校生活、家庭等の支援で、その中の一つとして、通学路の問題も入っています。実現の方向に向けて進めていきたいと考えております。

公共交通の

充実について

質問 村内唯一の交通機関として、デマンド乗り合いタクシーが平成20年に運行されて5年目に入り、見直しの時期にきています。地域の活性化対策や、まちづくりを考える中で、公共交通機関の整備が重要です。そこで利用者に対しての利便性、住民のニーズにこたえるために、本村に合った公共交通体系をどのように考えているか伺います。また「美浦村地域公共交通会議」に利用者をメンバーに入れる考えはあるか伺います。

答弁（保健福祉部長） 平成20年度の登録者は251人。平成23年度は509人。約2倍にふえています。年齢別では70代から80代が多く、60代と続いています。利用状況は一日平均延べ24人です。行き先は病院等が

多く、スーパー、公共施設、金融機関などです。ことしで5年目を迎え、内容の検証、総合的に見直す時期となり、9月にアンケートを実施。その結果を「美浦村地域公共交通会議」で検討してまいります。

答弁（村長） デマンド乗り合いタクシーは、公共交通ということ、当初は村内のみの運行でしたが、阿見医大行きの運行を実施しました。時間も30分早め8時30分からになりました。ただ利用時間が朝に集中するため、お断りしている方もいるようです。

今後「美浦村地域公共交通会議」のメンバーに利用者も加えて、アンケート、利用者の意見も取り入れ、増車、相互乗り入れ等、より便利な公共交通にするため、協議をしていきます。



障がい者対策及び 胃がん検診について

林 昌子 議員

質問 前回6月定例会において、現在の老人福祉センター1建物、敷地400平方メートルを増設する地域活動支援センター「ホープ」の増設計画の報告をいただきました。現在、定数22名ですが、今後利用者の増加が見込まれることから、40名が利用できる作業スペースに拡大を図られることが、利用者の方々の強い要望でした。早期実現に向け邁進されることを期待し、進捗状況を伺います。

答弁（保健福祉部長） 用地測量の補正予算をいただき、8月20日に測量が完了し、その後、不動産調査報告書を水戸財務事務所に出しました。土地購入は、平成25年度前半になり、そ

の後建物設計、建築となる見込みです。建物建設工事につきましては、平成26年度以降になると思います。土地については500平方メートル、駐車場については、東側に1か所設け、現在の場所にプラスし、2方向から出入りできるように考えています。

答弁（村長） 施設の増設については、先に図面を起すよりは、土地の取得が可能になった段階で進めるべきであると思います。今年度の中で、利用者の保護者の方たちの意見を取り入れ、設計も含め進めていきたいと思えます。

質問 国民2人に1人が発症し、3人に1人が死亡す

るといわれている「がん」、我が国における年間死亡者は30万人を超え、茨城県でもがんになった人は、年間1万1000人、その中で亡くなられた方は、7700人とデータが出ております。検診受診率を見ますと、大腸がん検診よりも胃がん検診受診率は、10%前後と少ないのが現状です。胃がん検診受診率を上げることにも加味した、胃がんの早期発見、早期治療のための、ピロリ菌ABCリスク検査の導入を提案いたします。

現在、東京都や埼玉県からスタートし、全国にこの検査が入れられております。茨城県では、牛久市、龍ヶ崎市が来年度から導入の準備をしております。近隣に先駆け、検査経費も削減し、医療費削減も見込まれる胃がん対策に力を入れたいと思います。

答弁（保健福祉部長） 美浦村の胃がん検診において

は、茨城県胃がん検診実施指針に基づいて、40歳以上の住民を対象に実施しております。また、婦人科検診を除いたがん検診は、集団検診として、茨城県総合検診協会に委託し、保健センターで実施をしております。美浦村として、胃がん検診の一時検診として推奨されている胃エックス線検診のさらなる受診率の向上に力を入れ、これに加え、ピロリ菌ABCリスク検査を組み合わせる方法、個別検診など、今後、検討していきたいと考えております。

答弁（村長） 60歳以上の方のほぼ95%がピロリ菌保有者である話も聞いております。牛久市と龍ヶ崎市が、ピロリ菌ABCリスク検査を今後取り入れていこうという話もあります。

美浦村としても、県内の状況を把握し、早めに取り入れられる体制を築いていきたいと思えます。

小中学校におけるいじめ及び不登校の問題について

下村 宏 議員

質問 滋賀県大津市のいじめによる自殺は、連日新聞・マスコミ等で取り上げられ、自殺者も後を絶たず、大きな社会問題となっております。保護者の中には、警察に直接被害届を出した報道もされており、学校・教育委員会の対応が注目されています。

会を実施し、積極的にいじめの調査と問題解決に取り組みました。

そこで、美浦村の小中学校のいじめの認知件数、調査方法、問題解決の状況について、教育長の見解をお聞きします。

各学校から報告された認知件数等は教育委員会で確認し、対応等を取りまとめました。安中小学校を除いた学校でいじめが確認されましたが、先生方の努力により大谷小の1件を除き解消されました。今後も先生方と協力しながら、万全な対応をしていきたいと考えます。

この2年間、適応指導教室の指導員の増員による対応や、中学校新校舎での学習、先生方の努力等が改善の要因と考えられます。

平成24年1学期中のいじめ認知件数(8月30日県教育委員会報告分)

| 学校名 | 件数 |
|-------|-----------|
| 木原小学校 | 10件 (10件) |
| 安中小学校 | 0件 |
| 大谷小学校 | 2件 (1件) |
| 美浦中学校 | 2件 (2件) |

注) ()内は、1学期中に解消した件数

茨城県及び美浦村の不登校児童生徒数

| | | 不登校者数 (長欠者数) (人) | 長欠率 (%) | 県全体不登校者数 (人) (長欠率) (%) |
|-------------------------------|-----|---------------------|-------------|---------------------------|
| 平成 22 年度版 (平成 21 年度分) | 小学校 | — (19) | 1.93 (1位) | 434 (0.80) |
| | 中学校 | 26 (31) | 6.39 (1位) | 2,440 (4.01) |
| 平成 23 年度版 (平成 22 年度分) | 小学校 | 4 (17) | 1.74 (1位) | 485 (0.84) |
| | 中学校 | 27 (31) | 6.78 (1位) | 2,353 (3.81) |
| 平成 24 年度版 (速報) (平成 23 年度分) | 小学校 | 4 (5) | 0.54 (順位未定) | 448 (0.85) |
| | 中学校 | 10 (12) | 2.74 (順位未定) | 2,247 (3.64) |

注 1) 茨城県教育委員会『教育調査報告書』による。

注 2) 長欠者には病欠者含む。長欠率は児童生徒 100 人当たりの長欠者数。()は県内の高率順位。

介護老人保健施設 葵の園・美浦について

椎名 利夫 議員

質問 土屋地区に、9月1日オープンとなりました介護老人保健施設葵の園・美浦について、質問させていただきます。今、美浦村は、高齢化に向かい突き進んでいます。平成26年度中には、4人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。地元住民は、まきば病院跡に診療所と介護老人保健施設ができるということで非常に期待をしておりました。ところが、診療所は週1回金曜日だけの診療という説明がありました。

答弁（保健福祉部長） 美浦まきば病院は、平成9年8月閉鎖となり、平成22年6月に、診療所を併設した老人保健施設開設の話が医療法人福祉会（以下福祉会）よりございました。福祉会においては、土屋地区の説明会を実施、村としても設置に対し同意書を提出させていた。また、同年10月に、村開発審査会及び茨城県保健施設選定委員会にかけられ、茨城県介護保健事業計画に即した設置許可が茨城県より認可されました。平成23年8月に、当初の申請者、福祉会から、医療法人晴生会（以下晴生会）へと事業主が変更になり、当初予定されていた診療所の開設を含め、内容が晴生会に引き継がれました。老人

保健施設に併設される診療所の診療科目は内科、整形外科及び訪問診療の計画であり、施設をリフォームして、1階に診療所とデイケアセンター、2階3階に老人保健施設100床を設置ということ。平成24年3月完成、4月開業ということ。その後、東日本大震災による資材調達の遅延やレイアウトの変更等により大幅に遅れ8月、県の検査を受け、9月開業となりました。しかし、診療所は週1回、金曜日の診療のみと変更になっていました。村としても計画と相違するため8月28日付、晴生会理事長宛て要望いたしました。内容の1点目として、診療科目と診療時間について、外来診療が内科、整形外科、訪問診療及び往診、診療日を月曜日から金曜日の午前、午後とする。2点目が地域住民への説明を行うよう、強く要望いたしました。9月10日に

晴生会より回答書が届き、1点目の診療日と診療科目については、今後、医師の確保に努め、美浦村の皆様のご期待に沿う診療所を目指してまいります。2点目の地区住民への説明は日程を調整し、実施させていただきますとの回答でした。

答弁（村長） 福祉会が当初開設という中では、診療所を含めてということでしたが、権利を受け継いだ晴生会については、県は介護老人保健施設の方だけが県の認可で、当初の診療所を併設して開設ということは県の認可の中には入っていない、村や地元との約束事の部分だといっている。ので、地元からの声として、福祉会との設立時の診療所の約束事がされていること、それを引き継いだのが晴生会だということ。強く言うていただき、村も同じように指導できる部分は指導してまいります。

江戸崎地方衛生 土木組合議会 視察研修報告

視察日

平成24年7月25日～27日

視察先

- ・北海道室蘭市 西いぶり廃棄物処理広域連合
- ・北海道千歳市 千歳市環境センター

視察目的

平成25年度新たな分別収集による循環型社会形成に向けて、第2期施設整備構想のごみ処理施設整備及び運営事業等の先進地を視察することで実情に即した問題等を把握した施設整備を行うための手懸りとするため。

参加者

沼崎光芳 椎名利夫

視察内容

西いぶり広域連合は室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町の西胆振5市町の

ごみ処理を行う広域連合施設であり、主体であるメルトタワー21は熱分解燃焼溶解炉で、可燃ごみは1日210トン、不燃ごみ、粗大ごみを合わせると年間6万3400トンの処理能力を持つている。廃熱ボイラーからの回収蒸気は、発電や場内の冷暖房、余熱利用施設で使われている。この施設は、公設民営方式で運営されている。そして、民間の創意工夫による事業全体の効率化と建設コスト削減ができる等の利点がある。

リサイクルプラザは、缶びん、ペットボトルの資源化、不用品再生、環境学習施設を併設し、リサイクル活動が自然と環境を守り、真の資源循環型社会の実現を目指して作られた施設である。

そして、余熱利用施設・げんき館ペトトルは、焼却施設の余熱を活用し、温水プール、ミニ体育館、スポーツ研修室、浴室等を備えた

健康増進施設である。平成23年度は、約3万8000人の利用があったが、ここは指定管理者による利用料金制となつているので、収入減となつた場合補填が難しいという面を持つている。



メルトタワー21にて

次の千歳市環境センターは、千歳市内から発生するごみ、資源物を一括処理する総合清掃センターです。計量所、焼却処理場、破碎処理場、管理棟、排水処理場、最終処分場（埋立地）、リサイクルセンターが1箇所に集約されており、ごみ、資源物を合理的に処理しています。

千歳市には、陸上自衛隊と航空自衛隊の3つの基地

があり、自衛隊関係者が人口の約3割を占めています。千歳市環境センターは、全体敷地面積65万563平方メートルと北海道の広大な土地を利用し、建築費用のほとんどを防衛庁の補助事業で行えるという特殊な環境である。

江戸崎地方衛生土木組合の焼却施設は、平成元年に使用開始し、24年を迎え耐用年数も末期を向かえております。その他の施設も老朽化に伴い、年々処理能力が低下しています。本年7月3日に、施設整備検討委員会にて議論を行った直後の視察であったため、非常に参考になった研修でした。



千歳市リサイクルセンターにて

龍ヶ崎地方衛生組合
視察研修報告

視察日

平成24年10月11日～12日

視察先

福岡県糟屋郡志免町 宇美町・志免町衛生施設組合 宇美志免浄化センター

視察目的

し尿等の処理管理における衛生事務の状況を研修することにより、広域衛生及び行財政の進展並びに運営の参考とする。

参加者

小泉輝忠 羽成邦夫

視察内容

宇美町・志免町衛生施設組合は、宇美町及び志免町の2町で構成されています。両町は、福岡市に隣接し、交通条件にも恵まれていることから、福岡都市圏のベッドタウンとして発展を続けている町です。この宇

美町・志免町衛生施設組合で運営する「宇美志免浄化センター」を視察しました。



宇美志免浄化センターにて

宇美志免浄化センターを運営する宇美町・志免町衛生施設組合は、両町で総人口8万3309人（平成24年3月31日現在）で、龍ヶ崎地方衛生組合8市町村の総人口と比べると、約5分の1の総人口になります。これまで両町では、し尿の全量を福岡市の海洋投棄に委託していました。しかし、同市の海洋投棄廃止に

伴い、し尿処理施設の建設が急務となりました。そこで両町では、平成10年4月、宇美町・志免町衛生施設組合を設立し、平成11年8月から施設の建設を始め、平成13年3月に竣工となりました。

この施設の特徴は、外観が周辺環境に調和し、臭気対策も万全であるという点です。住民の清潔で快適な生活環境をつくることを目的とし、公害防止に万全を期するとともに、外観上も周囲の景観を配慮した近代的な施設として、両町の環境浄化に大いに貢献しているそうです。

そして、宇美志免浄化センターで使用しているバキュームカーは、全面をカバーしてあり、一見保冷車にしか見えない車両でした。また、搬入経路も指定され、指定以外の道路からは搬入できないよう徹底されています。施設だけではなく、施設外でも景観にとっても配

慮しており、我が龍ヶ崎地方衛生組合も、宇美志免浄化センターを見習わなければいけないと感じました。ただし、宇美志免浄化センターの運営は、平成28年3月までとなっており、現在は下水道の整備を進めている段階だそうです。これからは、下水道の完備、そして、下水道へ加入をしてもらうことが、住民の清潔で快適な環境が整うことだとこの視察で痛感しました。



現場の声に耳を傾ける

**経済建設常任委員会
視察研修報告**

視察日

平成24年10月4日～5日

視察先

・群馬県吾妻東部衛生施設
組合

・八ッ場ダム及び地域防災
センター「やんば館」

視察目的

・震災がれき受入れ及び家
庭ごみ新分別収集につい
て
・ダム建設経緯等について

視察内容

経済建設常任委員会は、平成24年10月4日に群馬県吾妻郡の吾妻東部衛生施設組合、翌日には群馬県吾妻郡長野原町に建設されている八ッ場ダム関連施設と地域防災センター「やんば館」で事業の経緯等について視察研修しました。

吾妻東部衛生施設組合は、吾妻郡中之条町、東吾妻町、

高山村で構成され、一般廃棄物の共同処理を目的に設立された一部事務組合です。平成24年5月には、岩手県と東日本大震災により岩手県宮古市で発生した一般廃棄物「災害廃棄物」の受入れに関する基本協定を締結し、6月8日から受入れを開始しました。受入れ災害廃棄物の種類は、可燃性混合廃棄物（木くず、紙くず、プラスチック等）です。処理方法は、吾妻東部衛生センターの可燃ごみ処理施設において、通常搬入される一般廃棄物と災害廃棄物を混ぜて焼却処理を行っています。住民の放射能に関するさまざまな懸念に対して、独自に放射能濃度の測定をして、住民説明会を15区域20回にわたり開催（安全性を数値で）、また災害廃棄物処理に関するガイドラインと放射能管理マニュアルを制定し、住民が不安を持たないよう万全を期した結果、現在に至ったようです。

また、家庭ごみの新分別収集については、既に13品目に分別し収集しているそうです。なお、本村でも平成25年4月から燃えるごみの中から再生可能な資源物の分別に取り組むことになっています。



吾妻東部衛生施設組合にて

翌日5日は、八ッ場ダムと地域防災センター「やんば館」を視察研修しました。八ッ場ダムは、利根川の主要な支流である吾妻川中流部、群馬県吾妻郡長野原町川原湯地先に建設が進められている多目的ダムです。平成27年度の完成予定で、完成すれば関東1都5県の水がめとしては、9番目のダムとなります。八ッ場ダ

ムは治水機能のほか、利水機能も持っており、茨城県も水利権を保有している関係で事業費を負担しています。平成21年8月に政府方針の見直しにより、本体工事の着工が一時中止されましたが、平成23年12月に建設再開が表明されました。

平成11年4月にオープンした地域防災センター「やんば館」は、八ッ場ダムのために水没する長野原の方々の半世紀近くに渡るご苦労と、ダムの必要性をご理解いただくために開設した施設です。八ッ場ダム建設に至るまでの歴史・ダムの役割がわかりやすい展示で紹介されていました。



建設が進む八ッ場ダム

村内公共施設の視察を実施

議会活動に資するため、村議会として、村内公共施設の視察を行いました。

最初に美浦中学校を訪問し、授業風景を見学させていただきました。

校長先生及び教頭先生から、いじめ問題をはじめ、今の教育現場の現状を伺いました。

また、築3年が経過した校舎内を見学し、9月定例会の補正予算で計上されていた、トイレの改修箇所を確認しました。



美浦中学校での意見交換会

次に、幼稚園を訪問し、平成23年に予算執行された遊び場づくり事業及び本年度に予算計上してあるトイレ改修箇所、空調冷房施設を視察しました。



子どもたちの魅力的な遊び場に

次いで、学校情報通信技術環境整備事業として、村内小学校の4・5・6年生の教室に配備された電子黒板の利用状況などについて、安中小学校を訪問し、研修させていただきました。

電子黒板とは、コンピューターの画面上の教材をスクリーンやディスプレイに映し出し、その画面上で直接操作し、文字・絵の書き込

みや移動、拡大・縮小、保存等ができる装置です。



電子黒板の授業を体験

最後に、陸平貝塚の発掘調査を進めている文化財センターを訪問し、今年度の発掘調査の結果報告をしていただきました。



陸平貝塚の発掘を間近に

メガソーラー視察

このほど、安中土浦地区に株式会社ウエストエネルギーソーリユーションが手掛けるメガソーラー発電所が完成したとのことで、議会でも視察を行いました。

敷地面積約3万3000平方メートルにおよそ7000枚の太陽光パネルを敷き詰めてあります。



どこまでも続く太陽光パネルの列

太陽光発電は、二酸化炭素を減らし、地球温暖化を防ぐ有効な手段である「再生可能エネルギー」の中で、基幹電力として期待されています。

議員活動

| | | |
|----|-----|---------------------------------------|
| 8月 | 1日 | 花いっぱい運動コンクール表彰式 |
| | 2日 | 決算審査 |
| | 5日 | 広島平和記念式典 ～7日 |
| | 6日 | 県南町村議会議長会 |
| | 8日 | 茨城県町村議会議長会議長懇談会 |
| | 9日 | 後期高齢者医療広域連合議会定例会 |
| | 11日 | 鹿島アントラーズFCフレンドリータウンデイズ「美浦の日」 |
| | 19日 | シルバー人材センター納涼会 |
| | 21日 | 地域活性化対策検討委員会 「みほっ子・元気っ子体験」運営委員会 |
| | 22日 | 町村会・議長会合同定例会 |
| | 23日 | 競走馬調教場所在市村連絡協議会 龍ヶ崎地方衛生組合決算監査・出納検査 |
| | 24日 | 葵の園・美浦内覧会 |
| | 25日 | 稲敷地区防犯少年柔剣道大会 |
| | 27日 | 学校給食施設検討委員会 農業委員会定例会総会 |
| 9月 | 28日 | 例月出納検査 江戸崎地方衛生土木組合例月出納検査 |
| | 29日 | 災害時相互応援協定調印式 |
| | 4日 | 議会運営委員会 |
| | 6日 | 教育振興基本計画策定委員会 |
| | 8日 | 美浦中学校体育祭 |
| | 11日 | 議会定例会 議会全員協議会 |
| | 12日 | 議会全員協議会 各常任委員会 村内施設視察 |
| 9月 | 13日 | 議会定例会 議会広報公聴委員会 |
| | 15日 | 株式会社リッチフィールド美浦パブリカ養液栽培施設新築工事地鎮祭 |
| | 17日 | 敬老会 |
| | 18日 | 決算審査特別委員会 議会全員協議会 |
| | 19日 | 陸平貝塚安中保全活用の会理事会 |
| | 20日 | 議会定例会 |

| | | |
|-----|----------|---|
| 9月 | 21日 | 議会定例会 議会地方自治研究会 村内公共施設視察 秋の全国交通安全運動キャンペーン |
| | 24日 | 各小学校運動会 |
| | 25日 | 例月出納検査 江戸崎地方衛生土木組合定例監査・決算審査・例月出納検査 社会福祉協議会共同募金委員会 農業委員会定例総会 |
| | 27日 | 江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会 江戸崎地方衛生土木組合議会臨時会 東京医大茨城医療センター保険医療機関 取消しに係る茨城県知事への要望活動 |
| | 28日 | 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会 |
| 29日 | 美浦幼稚園運動会 | |
| 10月 | 4日 | 議会経済建設常任委員会視察研修 ～5日 |
| | 5日 | 操法競技大会出場選手激励会 |
| | 6日 | 各保育所運動会 |
| | 10日 | 議会地方自治研究会 |
| | 11日 | 龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修 ～12日 |
| | 12日 | 社会教育委員委嘱状交付式 |
| | 14日 | 武器学校・土浦駐屯地60周年記念行事 子ども会育成連合会「子どもまつり」 |
| | 17日 | 県南町村会視察研修 ～18日 |
| | 18日 | 龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会 |
| | 19日 | 議会広報公聴委員会 |
| | 21日 | 県南南部地区消防ポンプ操法競技大会 |
| | 22日 | 農業振興地域整備促進協議会 |
| | 23日 | 下水道事業審議会 |
| | 24日 | 首都圏中央連絡自動車道建設促進会議総会 保育所児と高齢者のふれあい交流会 |
| | 25日 | 農業委員会定例総会 ゴミ分別検討協議会 |
| | 28日 | 陸平縄文ムラまつり |
| 10月 | 30日 | 例月出納検査 江戸崎地方衛生土木組合例月出納検査 龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会 |
| | 31日 | 県南町村議会議長会 |

議会を傍聴してみませんか

- 役場1階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています

お問い合わせ先

議会事務局

☎ 029-885-0340 内線 301・302

E-mail gikai@vill.miho.lg.jp

URL <http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>



議会広報公聴委員会

| | | | | | |
|-----|-------|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 山本 一恵 | 副委員長 | 坂本 一夫 | 委員 | 下村 宏 |
| 委員 | 富田 隆雄 | 委員 | 山崎 幸子 | 委員 | 椎名 利夫 |
| 委員 | 飯田 洋司 | 委員 | 岡沢 清 | 委員 | 塚本 光司 |